

体調が悪い時に

乳幼児は感染症にかかりやすく、様々な病気にかかりながら、免疫を作り、丈夫な体を作っていく時期です。しかしながら、保育園は様々な子ども達が集団生活をする場所であり、集団感染を防ぐ必要があります。

そこで、「保育所における感染症対策ガイドライン」(厚生労働省2018年3月)をもとに、当園では感染予防のための対応をとっています。

お子様の体調が悪い時は、おやすみをお願いします。

症状	保育園をお休みする目安	保育園から保護者に連絡をする目安
発熱	乳児→熱が 37.7℃以上あり(37.8℃未満) 幼児→熱が 37.5℃以上あり 夜泣きや鼻水・咳をしているとき 元気がなく機嫌が悪い 朝食・水分がとれていない ・24時間以内に解熱剤を使用している。 ・24時間以内に38度以上の熱が出た。	38度以上の熱がある。 (5～10分おきに2回測定) ・元気がなく機嫌が悪い。 ・咳で眠れず目覚める。 ・排尿回数がいつもより減っている。 ・食欲がなく食事、水分がとれていない。
下痢	・24時間以内に2回以上の水様便がある。 ・食事や水分をとると刺激で下痢が出る。 (1日4回以上の下痢) ・下痢に伴い、体温がいつもより高めである。 ・朝、排尿がない。 ・機嫌が悪く元気がない。 ・顔色が悪く、ぐったりしている。	・食事や水分をとると、刺激で下痢をする。 (1日4回以上の下痢) ・腹痛を伴う下痢がある。 ・水様便が2回以上みられる。
嘔吐	・24時間以内に2回以上の嘔吐がある。 ・嘔吐に伴いいつもより体温が高め。 ・食欲がなく、水分もほしがらない。 ・機嫌が悪く、元気がない。 ・顔色が悪く、ぐったりしている。	・咳を伴わない嘔吐がある。 ・元気がなく機嫌・顔色が悪い。 ・2回以上の嘔吐があり、水を飲んでも吐く。 ・吐き気が止まらない。 ・お腹を痛がる。 ・下痢をとまなう。

症状	保育園をお休みする目安	保育園から保護者に連絡をする目安
咳	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間たびたび咳のために起きる。 ・喘鳴や呼吸困難がある。 ・呼吸が速い。 ・37.5度以上の熱をともなっている。 ・元気がなく、機嫌が悪い。 ・食欲がなく、朝食・水分がとれない。 ・少し動いただけで咳が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> 38度以上の発熱がある。 ・咳があり眠れない。 ・ゼイゼイ・ヒューヒュー音があり眠れない ・少し動いただけで咳が出る。 ・咳とともに嘔吐が2回以上ある。
発疹	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱とともに発しんがあるとき。 ・今までになかった発しんが出ている。 ・感染症が疑われ、医師より登園を控えるように指示されたとき。 ・口内炎のため食事や水分がとれないとき。 ・とびひ <ul style="list-style-type: none"> ◇顔などで患部を覆えない時。 ◇浸出液が多く、他児への感染のおそれがあるとき。 ◇かゆみが強く手で患部を掻いてしまうとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発しんが時間とともに増えた時 麻しん→発熱して、かぜのような症状を伴う発熱後、一旦熱がやや下がった後に、再度発熱し赤い発しんが全身に広がる。 手足口病→微熱程度の熱が出た後に手のひら、足の裏・口の中に水泡ができる。膝やお尻にできることもある。 突発性発しん→38度以上の熱が3～4日続き下がった後、全身に赤い発しんが出てくる。 風しん・溶連菌感染症→発熱と同時に発しんが出る。 伝染性紅斑→微熱と両頬にリンゴのような紅斑、四肢にあみ目状の発しんが出る。 水痘→水泡状の発しんが顔や頭部に出て全身にひろがる。発熱やかゆみは個人差がある。

※乳児・・・こすもす、ちゅうりっぷ、すみれ
幼児・・・たんぽぽ、ゆり